

9 看護局業務

1) 看護局ミッション

地域住民の健康な生活を支え、地域に根ざし信頼される看護を提供します。

2) 看護局ビジョン

(1) 信頼される医療の提供

患者さん、地域の方にとって信頼される安心な医療を提供するとともに、患者さん中心の看護を探究します。

(2) 円滑な組織運営

組織は人なりという考え方に立ち、組織人として期待される責務を果たすという信頼関係を基盤に、チーム医療や業務改善を推進して、円滑な組織運営の共創に努めます。

(3) 自律した看護師の育成

相互に人を大切にし、共に育つようキャリア形成を支援し、主体的に学び行動する自律した看護師の育成を目指します。

(4) ワークライフバランスの促進

仕事と生活を両立して働き続けられる環境を築き、良質な人材を確保して、質の高い安定した看護の提供につなげます。

3) 令和3年度 看護局目標

- (1) 安全で安心な看護の提供
- (2) 円滑な病床管理
- (3) 教育体制の充実
- (4) 魅力ある職場環境づくり

4) 令和3年度 看護局目標評価

(1) 安全で安心な看護の提供

昨年度に引き続き、患者を生活者として捉えたアセスメント・看護計画の充実に取り組んだ。認知症看護では、認知症ケア加算フローに基づいた運用を行い、アセスメント・看護計画立案実施率80%、コンサルテーション率80%であり、認知症ケアチームの早期介入に繋がり、認知症ケアの推進が図られた。また、摂食嚥下機能アセスメントの視点と基本的な食事介助技術の習得について学習を進め、高齢者看護の重症化・機能低下を予防するケアの充実を進めている。

新型コロナウイルス感染症神奈川モデル重点医療機関（以下、重点医療機関）として、病床確保フェーズにあわせて受け入れ体制を整え対応した。また、標準予防策と感染経路対策の周知を徹底し、感染ラウンドによる課題の抽出と対策を行った。膀胱留置カテーテル管理について調査を行い、対策の強化を図った。災害対策では、新型コロナウイルス感染症患者・疑い患者の災害避難マニュアルを作成し、机上訓練を実施し、事業継続計画の追加を行った。

安全対策の強化として、「患者確認」では患者誤認ゼロを目指した取り組み、「与薬」では薬剤科と連携した配薬ミスの予防対策、「ドレーン・チューブ管理」では医師と協力し学習会の開催、「転倒転落」では転倒転落アセスメントシートの評価と環境整備の徹底を行った。次年度も取り組みを継続する。

(2) 円滑な病床管理

重点医療機関として新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを優先し、柔軟な病床管理を継続するとともに、地域包括ケア病棟を再開し、一般診療との両立を行っている。重症度・医療・看護必要度のデータを活用した病床管理を継続する。

退院支援の強化として、カンファレンスの定着を図り、他機関との共同指導を実施した。地域との連携強化のため、看護サマリーに退院時のADLや食事の状況の詳細を記載した具体例を作成し活用している。

(3) 教育体制の充実

新人看護師の職場適応できており、体調管理や報告の点での課題もあるが、各セクションの教育計画に沿って概ね順調に成長している。次年度に向けては内定者の臨地実習状況を踏まえて新採用者研修の内容を強化した。ステップ研修については感染対策に留意し予定通り実施できた。専門職として自ら学ぶ機会を支援し、安全な看護実践のためにはエラーニングを活用する文化の定着が課題である。

共有文化の醸成の取り組みとして、看護科長代理会議では病棟間のリリーフ体制の課題を検討し、気持ちよく仕事ができる環境整備について意見交換を行った。また、教育担当者会議では足柄式教育体制について自己評価

を行い、自己評価結果をセクションで検討する機会を設けた。自己評価の低い項目を課題として捉え、足柄式教育研修の内容を変更する等、「共育」「共創」の推進・定着を進めている。

特定行為指定研修施設として特定行為研修を開始した。今年度は「神奈川県立足柄上病院 特定行為研修 B コース 血糖管理領域」を開講し、当院看護師2名が学び、研修を修了した。今後、特定看護師として活動予定である。

(4) 魅力ある職場づくり

勤怠管理システムを導入し、データの可視化による自身の働き方の見直しに取り組んでいる。時間内終業を推進しているが、セクションの課題をさらに明確化し、業務改善を進める必要がある。夜勤専従は関心のある職員が健康に留意しながら自身の生活にあった働き方を実施しており、ワークライフバランスの充実に努められている。

地域包括ケア病棟の再開や新型コロナウイルス感染症対策への対応等に伴い看護補助者の業務内容を検討し、看護補助者の活用を促進している。

医師のタスクシフト推進として、静脈注射認定看護師が造影剤投与を実施する体制について手順を見直しながら取り組んでいる。特定行為研修修了看護師は胃瘻や膀胱瘻の交換を実施している。また、倫理委員会で周麻酔期看護師の活動が承認され、包括手順書に基づき活動を開始し、順調に活動を進めている。

(5) 看護外来業務

ストーマ外来では皮膚・排泄ケア認定看護師が中心となり、人工肛門や人工膀胱を持つ患者・家族に対して、日常生活に関わる相談、またトラブルが起きないように予測して対応している。患者が“自分らしさ”を大切にしながら日常生活を送れるためのサポートをしている。

ストーマ外来 (単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
179	134	195

(6) 令和3年度研修・実習実績

院内研修実績

＜キャリアラダー ステップ研修＞

段階	要素	研修名	目的	方法	人数
ステップⅠ	実践	看護過程Ⅰ	看護過程に必要な情報をアセスメントできる力を養う	講義・GW	8
	管理	メンバーシップ研修	メンバーシップについて理解する	講義・GW	8
ステップⅡ	実践	看護過程Ⅱ	根拠に基づいた看護過程の展開ができる力を養う	事例展開	12
	教育	後輩育成Ⅰ	後輩に関わる姿勢を養う	講義・GW	15
	管理	リーダーシップ研修	リーダーシップについて理解する	シャドーイング	9
ステップⅢ	実践	看護過程Ⅲ	患者の個性に合わせた看護過程の展開ができる力を養う	事例展開	5
		倫理研修Ⅰ	看護実践における倫理的問題の解決にむけた基礎的能力を養う	講義・GW	14
	教育	後輩育成Ⅱ	後輩のレディネスに合わせて関わる姿勢を養う	講義・GW	8
	管理	問題解決Ⅰ	問題解決にむけた基礎的能力を養う	県立病院機構研修「医療安全」受講	8
ステップⅣ	実践	倫理研修Ⅱ	看護実践における倫理的課題を理解し、解決に向けた対処方法を考えられる	県立病院機構研修「臨床倫理」受講	4
	実践	問題解決Ⅱ	所属セクションで起きている問題の本質を捉え、問題解決方法を考えられる	県立病院機構研修「問題解決・リーダーシップ」受講	2
ステップⅤ	教育管理	問題解決Ⅲ	マネジメントプロセスを理解し、病院や部門の理念に基づいて組織・セクションの目標達成に取り組むことができる	県立病院機構研修「マネジメント研修」受講	1

<役割研修>

研修名	目的・目標	方法	人数
足柄式教育研修	看護師教育における役割を担うために足柄式教育体制を理解する	講義・GW	35
新主任研修	新任主任看護師として、組織の中で期待される役割を理解し、実践することができる	県立病院機構研修「新任主任看護師研修」受講	5
新看護科長代理研修	看護科長代理の役割を理解し、役割遂行に向けた事故の課題を明らかにする	シャドーイング・GW	3

<新採用者研修>

研修名	目的・目標	方法	人数
新採用看護職員採用時研修	新しい職場への早期適応を図る 専門職業人としての基礎的な知識・技術・態度を学ぶ	講義・演習・GW	8
実務研修	安全な看護実践を目指し、基準手順に沿った知識・技術・態度を習得する	シャドーイング GW・看護技術演習 看護技術試験	8
急変時の対応	急変の前兆に気づき必要な初期対応がわかる	講義・演習	8
リフレッシュ研修	仲間とともに3ヶ月間の体験を振り返り、気持ちをリフレッシュする	自然散策・グループディスカッション	8

<オープンセミナー>

研修名	目的・目標	方法	人数
がんの痛みをかんがえる～今年もやりますちょこっとセミナー～	がん性疼痛を抱える患者・家族に関わる看護師の、疼痛緩和看護の実践力が高まる	講義(Web配信) 事例検討(オンラインミーティング)	3

特定行為研修

研修目的

安全に特定行為を実践し、看護師に求められる責務を遂行するために高度かつ専門的な知識及び技能により、地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療を担う人材の確保と人材育成を行う

研修目標

- 1) 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う
- 2) 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う
- 3) 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決に向けて、多職種と効果的に協働できる能力を養う

領域	特定行為区分	特定行為	研修期間	時間数	研修方法	人数
血糖管理領域	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	2021年 4月5日 ～ 2022年 3月24日	共通科目 ：252時間 区分別科目 ：32時間 計284時間	講義：eラーニング動画視聴 演習：グループディスカッション 実習：実技シミュレーション訓練 科目修了試験：筆記試験 症例実習：院内実習	2
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整				

<特定行為研修体験会>

対象者	特定行為研修に関心のある当院看護師	人数
日 程	2021 年 10 月 11 日 開催、11 月 1 ・ 5 日 中止	1
目 的	特定行為の実際を知ること、自身のキャリア形成を考える機会となる 特定行為研修の内容の一部を体験することで、特定行為研修希望者の確保に繋がる	
内 容	当院の特定行為研修の説明 特定行為研修の e-ラーニング学習を体験	

学会参加実績

<学会参加>

学 会 名 (分 野)	開催地	開 催 日	人数
日本認知症学会 学術集会	東京	11 月 26 日～28 日	1
全国自治体病院学会	奈良	11 月 4 日～5 日	1
日本看護教育学会 学術集会	Web	8 月 (オンデマンド開催)	1
日本老年看護学会	Web	6 月 12 日～13 日 (オンライン開催)	1
日本看護管理学会 学術集会	横浜	8 月 28～29 日 (ライブ配信)	1
日本家族看護学会学術集会	Web	10 月 2～3 日 (ライブ配信)	1
医療の質・安全学会学術集会	Web	11 月 27～28 日 (オンライン開催)	1
日本周産期メンタルヘルス学会	Web	10 月 23～24 日 (ライブ配信)	1

院外研修参加実績

<長期研修派遣>

受 講 分 野	日 程	人数
保健師助産師看護師実習指導者講習会 国際医療福祉大学小田原キャンパス	9 月～11 月	1
認定看護管理者教育課程ファーストレベル 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	4 月～9 月	1
認定看護管理者教育課程ファーストレベル 神奈川工科大学看護生涯学習センター	10 月～1 月 (オンライン授業、集合研修)	2
認定看護管理者教育課程セカンドレベル 湘南医療大学看護実践教育センター	9～12 月 (オンライン授業、集合研修)	1
特定行為研修 血糖管理領域 神奈川県立足柄上病院	4 月～3 月	2
医療安全管理者養成研修 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	10 月～11 月 (オンライン授業、集合研修)	1
医療安全管理者養成研修 日本看護協会	7 月～10 月 (オンデマンド授業、集合研修)	1

<神奈川県立病院機構 職員研修等>

コース名	日 程	会 場	人数
医療安全	5 月 28 日・10 月 1 日	がんセンター	8
臨床倫理	6 月 18 日・10 月 22 日	1 日目 機構本部 (ZOOM) 2 日目 こども医療センター	4
人材育成	6 月 29 日・10 月 28 日	精神医療センター	1
問題解決・リーダーシップ	6 月 4 日・10 月 7 日	1 日目 循環器呼吸器病センター 2 日目 がんセンター	2
マネジメント	7 月 1 日・11 月 2 日	こども医療センター	1
新任主任看護師研修	5 月 14 日・9 月 17 日	1 日目 足柄上病院 2 日目 所属病院 (ZOOM)	5
新任看護科長研修	5 月 10 日	機構本部	3
医療メディエーション	12 月 6 日・12 月 7 日	循環器呼吸器病センター	4

<日本看護協会>

研 修 名	日 程	人数
コロナ禍における複合災害等の備え (Zoom 配信)	6 月 18 日	1
地域包括支援システム推進に向けた専門性の高い活用の仕組みの構築	オンデマンド配信	1
データを活用した看護管理 ～自部署の看護の質を保証する～	10 月 18 日	1

<神奈川県看護協会>

研 修 名	日 程	人数
看護学生とともに育つ臨地実習指導	6 月 1 日	1
実地指導者研修Ⅰ～はじめての新人教育～<神奈川県委託事業>	6 月 8・9 日	1
学んでみよう災害看護～その時あなたは何かができますか？～(Zoom)	6 月 11 日	1
実地指導者研修Ⅲ～教育に活かそう！コーチング～(神奈川県委託事業)	6 月 16 日	1
在宅療養に 1 に向けた看護～訪問看護との連携～	9 月 6 日	1
中堅看護師支援研修～イキイキと働き続けるために～	9 月 30 日	1
小田原支部:新採用者フォローアップ研修 「レジリエンス～へこんでも折れない心で働き続ける～」(Zoom)	10 月 16 日	8
実践に活かす糖尿病の最新知識～糖尿病患者のセルフケア支援～	11 月 1 日	1
看護師職能委員会Ⅱ研修会「地域における COVID-19 の現状と課題」(Zoom)	11 月 13 日	1
地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援	11 月 13 日	1
フィジカルアセスメント(基礎編)～看護実践に活かすフィジカルアセスメント～②	12 月 7 日	1
慢性心不全患者の看護～疾患の理解からセルフケア支援まで～ (Zoom)	1 月 24 日	1
事例から学ぼう褥瘡ケアの実際 (Zoom)	1 月 28 日	1
《JNA 収録 DVD 研修》看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	12 月 15 日	1
	2 月 1 日	1

<公開授業>

研 修 場 所	研 修 内 容	日 程	人数
神奈川県立平塚看護大学校	看護援助論総合演習Ⅱ 多重課題演習	10月20日	1
神奈川県立平塚看護大学校	令和3年度研究発表会	12月6日	1
神奈川県立平塚看護大学校	看護援助論総合演習Ⅱ OSCE(客観的臨床能力試験)	12月13日	1

<その他研修等>

主 催	研 修 名	日 程	人数
日本臨床看護マネジメント学会	重症度、医療・看護必要度院内指導者研修	インターネット配信	3
厚生労働行政推進事業費補助金 事業研究班	第15回関東甲信越 HIV 感染症看護基礎研修会	6月11日 (オンライン)	1
日本病院協会 日本経営協会	国際モダンホスピタルショウ 2021	7月29日	2
日本看護協会	特定行為研修指導者講習会	6～7月 (通信) 7月7日 (集合)	1
神奈川県	人物試験評価者講習会	8月5日	1
かながわ健康財団	令和3年度神奈川県看護職員 認知症対応力向上研修	8月18・25日 9月29日	1
神奈川県看護協会	キャリア継続支援研修	1月25日	1
神奈川県看護協会	令和4年度教育計画・事業(案)説明会	2月22日	1

研修等受入実績

依頼学校	研 修 名	日 程	人数
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	認定看護管理者教育課程サードレベル 統合演習Ⅲ・実習	10月6日	1

かもめのたまご計画(就職前支援)開催実績

対象者	当院の就職内定者(任意参加)
日 程	10月16日、3月11日
目 的	入職前に職員や新入職者同士で交流し、職場環境を知ること、入職に対する不安が軽減する
参加者	第1回(10月16日): 12名
内 容	第1回(10月16日) ・顔合わせ、自己紹介 ・学習支援 e ラーニング(看護技術、国家試験過去問題集)の紹介 ・看護師国家試験 過去問題の演習(状況設定問題場面への対応) ※12月～1月にかけて、看護師国家試験の模擬試験を通信教育で実施

復職支援研修 **開催中止**

対象者	復職を検討している潜在看護師
日 程	9月7日
目 的	潜在看護師が、医療や看護の現状を知ることによって復職を前向きに考えることができる
内 容	講話：医療・看護・福祉の動向 病院見学：シャドーイング

院内行事

<看護研究・実践報告発表会>

日 時	10月27日 15:00 ～16:30
内 容	<看護研究> 1. 看護師が仕事に感じるゆとり 高橋佳織 2. 後期高齢患者の健康状態・家族背景と退院先決定との関係 竹下みのり <実践報告> 1. 転倒・転落アセスメントスコアシートの改善を試みて 中村由紀 2. COVID-19 患者エアロゾル回避のための頭位被覆 BOX 作成 生田正美 3. 新型コロナウイルス感染症病棟での終末期患者の看取り ～患者管理が優先される状況での緩和ケア実践を振り返る～ 曾我輝之
講評	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部看護学科 教授 谷山 牧 先生

<看護の日週間>

日 程	5月6日～31日
目 的	職員が地域との交流を図り、看護について共に考える機会となる
内 容	パネル展示（地域の皆さまへありがたさを伝えよう、各部署での感染対策の取り組み） 外来テレビモニター（メディネット）で、パネル展示の内容を放映 患者給食へ看護の日カード添付

<高校生一日看護体験> **開催中止**

対象者	高校生
日 程	7月29日
目 的	看護に関心のある高校生が将来看護職を目指すきっかけとなる
内 容	看護師の仕事について紹介 病棟看護師のシャドーイング 看護師養成校の説明（県庁職員）

看護学実習受入実績

看護学実習受入実績

[illegible][illegible]

10 助産関連業務

助産師は院内助産の実施に伴い、満足度の高いお産ができることを目的とした妊婦健診と保健指導（助産師外来）を行っている。また、授乳指導や母乳育児の支援として、母乳育児外来や相談業務を行い、出産前から出産後まで継続した支援を行っている。

区分 年度	院内助産	助産師外来	ペアクラス	母乳育児外来	おっぱい大好き 倶楽部	骨盤体操 クラス
令和元年度	29 人	333 人	59 人	122 人	39 組	25 人
令和2年度	0 人	5 人	0 人	16 人	0 組	1 人
令和3年度	0	0	0	0	0	0

※令和2年度の助産師外来は、紹介状を渡すための受診で診察は行っていない

1 1 各種活動報告

(1) 感染管理室とチームの活動報告

当院では、院内感染防止のため①スタンダードプリコーション及び感染経路別予防策の実践②感染情報を共有③感染症発生状況の報告、分析、評価、この3点の考え方を基本とした感染対策を行い、患者・全職員・地域を含めた安全な環境確保を図る視点から感染防止に取り組んでいる。

感染管理室は感染管理室長（副院長・感染制御医師）、室長補佐（内科医師・感染制御医師）、室員（感染管理認定看護師）各1名で構成し、感染制御チーム（Infection control team, ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship team, AST）とともに活動している。

1. 新型コロナウイルス感染症に対応した感染防止対策の実施

今年度も新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）をふまえた感染防止策を継続した。標準予防策とユニバーサルマスキングの徹底やいわゆる3密の回避などである。また、神奈川モデルの重点医療機関として COVID-19 患者の受入れを行うための設備面の整備、運用のための手順やマニュアル整備に関わった。

設備面では、発熱患者専用診察スペースの設置や感染防御の設備を整えた病室の整備、外来玄関に検温モニターの設置をした。運用面では、平日昼間は外部者の出入口を外来玄関に統一し、面会禁止・面談等病棟立ち入り者の健康観察と記録による入院患者への感染リスク低減策、入院患者の入院前健康観察実施、手術患者の術前 PCR 検査実施、委託職員含め職員と家族の健康観察実施と日常生活指導を含む感染防止策の実施などによりクラスターの発生はなかった。

2. 感染防止対策に関する診療報酬について

感染防止対策加算1、感染防止対策地域連携加算を継続算定し、陽風会高台病院、財団報徳会西湘病院、綾和会間中病院と連携し、合同カンファレンスを4回/年実施した。地域連携加算相互評価では、藤沢市民病院と相互に評価を実施した。平成30年度より抗菌薬適正使用支援加算の新設により、AST活動を行っている。

3. 神奈川県立病院機構感染制御推進会議（5回実施/年）

感染制御責任者（副院長・感染管理室長）、感染制御医師（感染管理室長補佐）、副事務局長が出席し、法人内の感染制御に係る検討・調整が行われた。

4. 神奈川県立病院機構感染制御ワーキンググループ（3回実施/年）

神奈川県立病院機構感染制御推進会議の下部組織として、感染管理室員（感染管理認定看護師）が出席、情報共有・意見交換を行った。

5. 感染対策会議（定例 12 回実施／年）

院内感染防止、感染症発生時の措置及び感染対策を推進する組織に関して必要な事項を定める会議である。ICT ミーティングの報告や感染リンクナース会議の報告を受け当院の方針を決定した。COVID-19 対策本部会議と連携し、COVID-19 対応等について検討した。

6. ICT ミーティング（48 回実施／年）・AST ミーティング（48 回実施／年）

メンバーは、感染管理室長、室長補佐 1 名、臨床検査技師 1 名、薬剤師（感染制御認定薬剤師）1 名、事務職員 1 名、室員 1 名の計 6 名である。毎週木曜日にミーティングを開催し、血液培養結果検討、耐性菌検出者検討、抗菌薬の適正使用及びケースラウンド、院内ラウンドを実施した。感染防止対策マニュアルの改訂、耐性菌対策、COVID-19 対策、その他の感染対策を検討し、感染対策会議に提案した。

7. その他

	項目		今年度	前年度	備考
①	耐性菌サーベイランス	MRSA（感染患者割合）	1.11	1.89	（延べ入院患者に対する感染患者数×1000）
②		ESBL（感染患者割合）	1.30	1.67	
③	血液培養件数		1,942 件	1,474 件	
④	血液培養 2 セット提出率		95.2%	98.1%	
⑤	特定抗菌薬届出提出率		95.2%	97.1%	
⑥	バンコマイシン治療薬物モニタリング（TDM）	人数	47 名	23 名	
		解析回数	115 回	89 回	
⑦	職員インフルエンザワクチン接種率		93%	89%	
⑧	院内研修受講者数（延べ人数）		2,813 名	1,627 名	
⑨	院内研修実施回数		15 回	27 回	
⑩	感染対策便り発行		12 回	11 回	基本は月 1 回の発行

- ・サーベイランスは、①②に加え、厚生労働省院内感染防止対策サーベイランス（JANIS）検査部門・全入院患者部門に継続参加した。
- ・本年度の血液培養件数は増加し、2 セット提出率は前年度と同等であった。採血困難事例以外は 2 セットでの提出がされている。
- ・院内研修は、COVID-19 対策として密を避け e ラーニングを活用した研修を実施した。

院内研修の主なテーマ（一部抜粋）

新入職者等研修	新型コロナウイルス感染症	薬剤耐性菌に関すること
インフルエンザ感染予防	ケア関連：誤嚥性肺炎、排泄	標準予防策と感染経路別予防策

院外研修

施設名	テーマ
神奈川県立中井やまゆり園	新型コロナウイルス

(2) 医療安全推進活動報告

- 令和3年度のヒヤリ・ハット事例および医療事故報告全体における、レベル0及びレベル1の報告割合は89.7%で、第3期中期計画数値目標の84.5%を4.3%上回った。今後もレベル0報告の割合を増やすことに力を入れ、事故予防策を講じる。
- 転倒・転落の発生率は3.25%であった。発生率は、65歳以上の入院患者の増加に伴い年々増加傾向にあるが、対策ワーキングの活動を中心に継続的な取り組みを行っている。
- 医療安全対策1及び医療安全対策地域連携加算1に関連した施設間の相互評価について、感染予防に留意しながら実施した。加算1に係る届出を行っている病院とは相互に訪問し、安全確保のための業務改善策について情報交換を行った。加算2に関連した届け出を行っている病院とは相互チェックシートをもとに情報共有した。
- 医療安全研修は、動画視聴やオンライン研修を取り入れる等感染対策を実施したうえで実施した。急変時対応研修については、窒息対応に関する内容を追加した。

① 研修活動

	研修区分	対象	内 容	開催回数	参加 延べ人数
1	医療安全研修	全職員	胸腔ドレーンの管理	1	57
		全職員	院内急変時対応(心肺蘇生・窒息時対応)	1	114
		全職員	モニター心電図の基礎知識	1	38
		全職員	不整脈	1	43
		全職員	人工呼吸器の取り扱い	1	10
		全職員	高齢者の心不全	1	37
		全職員	医薬品の安全使用について	1	36
		全職員	2槽ダブルバッグ製剤 隔壁未開通投与防止対策	1	12
		医師・研修医・看護師	安全なエコーガイド下 中心静脈穿刺	1	9
		看護補助者	看護補助者・病棟技能員研修	3	36
		全職員	医療倫理	1	42
		全職員	令和3年度 医療安全に関する取り組み報告会	1	40
		全職員	こどもの虐待	1	11
		全職員	低圧持続吸引器メラサキュムの管理	1	19
2	医療安全研修 セクション共同開催	全職員 一部対象限定 看護職員 研修医	心臓カテーテル勉強会1(PCPS)2(IABP)3脳室ドレナージ 4高齢者体験とユマニチュード 5DダイマーとDVT 6術中モニタリングの操作とセッティング及び術中波形の確認 7褥瘡対策 8心筋シンチグラフィ勉強会 9コロナPCR検査研修 10MRIの危険性と安全対策研修 11臨床病理検討会 12糖尿病治療における最新デバイス勉強会 13診療用放射線の安全管理に係る研修会 計13研修	15	531
3	医療安全・感染防止研修	感染症対策委員会活動報告参照			
4	リスクマネジメント会議	会議構成員	リスクマネジメント会議の事例検討	3	53
5	採用時研修(オリエンテーション)	転入・新採用職員 研修医	転入・新採用職員研修医採用時研修	2	53
6	動画視聴研修	全職員	医療安全動画視聴	1	270

- ② 医療安全週間（期間：令和3年11月21日～11月27日）
- 感染防止対策のため参加型のイベントを自粛し、院内各部門の取り組み（テーマ：正しい方法で患者さんを確認します）と近隣児童生徒による絵画ポスター6点を約1か月間院内に提示した。
- 今後は感染状況を見ながら、病院職員を対象とした展示会等のイベントも企画し、職員の医療に関する意識向上に向けて活動を広げる。

③ 令和3年度ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告

神奈川県立病院機構 ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの分類レベル指標

区分	レベル	内 容
ヒヤリ・ハット	レベル0	間違ったことが発生したが、患者には実施されなかった場合
	レベル1	間違ったことを実施したが、患者には変化が生じなかった場合
	レベル2	実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった影響を与えた可能性があり、観察の強化や検査の必要性が生じた場合
	レベル3	実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった軽微な処置・治療の必要性が生じた場合
アクシデント	レベル3	実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった若しくは予期していたものを上回る何らかの変化が生じ、濃厚な処置・治療の必要性が生じた場合
	レベル4	実施された医療又は管理により、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合
	レベル5	実施された医療又は管理により、予期せず患者が死亡した場合

ア 全体報告数

インシデント・アクシデント年度別報告数の推移

区分	レベル	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
ヒヤリ・ハット事例	0	273	1,553	258	1,323	556	1,750
	1	1,280		1,065		1,194	
	2	452	482	118	124	192	202
	3a	27		6		6	
アクシデント	3b	3		0		4	
	4	0		0		0	
	5	0		0		0	
合 計		2,035		1,447		1,952	
レベル0, 1発生率 ※1		76.3%		91.4%		89.7%	
レベル2以上発生率 ※2		23.7%		8.6%		10.3%	
入院延べ患者数		75,710		40,746		56,010	

※1 レベル0, 1以上報告数／全報告数

※2 レベル2以上報告数／全報告数

イ 事象別報告

事象別報告件数

事象	①令和2年度		②令和3年度		②－① 件数
	件数	構成比率	件数	構成比率	
指示・情報伝達	51	3.5%	42	3.5%	－9
薬剤(処方・与薬・調剤・製剤管理)	255	17.6%	374	17.6%	119
注射・点滴	67	4.8%	140	4.8%	73
内服薬	173	12%	204	12%	31
その他	15	1.0%	30	1.0%	15
輸血	8	0.6%	2	0.6%	－6
治療・処置・診察	39	2.7%	62	2.7%	23
手術	23	1.6%	39	1.6%	16
麻酔	2	0.1%	1	0.1%	－1
その他治療	2	0.1%	5	0.1%	3
処置	9	0.8%	10	0.8%	1
診察	3	0.2%	7	0.2%	4
医療用具(機器)使用管理	13	0.9%	19	0.9%	6
ドレーン・チューブ類使用・管理	314	21.7%	358	21.7%	44
検 査	240	16.6%	255	16.6%	15
療養上の場面	467	32.3%	757	32.3%	290
転倒・転落	140	9.7%	182	9.7%	42
給食・栄養	126	8.7%	375	8.7%	249
その他	201	13.9%	200	13.9%	－1
その他	60	4.1%	83	4.1%	23
合 計	1,447	100%	1,952	100%	505

ウ 報告者別事象報告件数

報告者別 事象報告件数

表3 報告者別事象報告件数

事象	①令和2年度		②令和3年度		②－① 件数
	件数	構成比	件数	構成比	
医師	27	1.9%	50	1.9%	23
看護師	1,139	78.6%	1,346	78.6%	207
薬剤師	48	3.3%	50	3.3%	2
臨床検査技師	82	5.7%	99	5.7%	17
放射線技師	9	0.6%	26	0.6%	17
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	13	0.9%	4	0.9%	－9
管理栄養士	121	8.4%	362	8.4%	241
事務職	8	0.6%	15	0.6%	7
その他	0	0.0%	0	0.0%	0
合 計	1,447	100.0%	1,952	100.0%	505

(3) クリニカルパス検討会議

令和3年度は16件のパス運用基準の検討・修正を実施した。
パスの使用実績は、1,170件であった。

令和3年度 クリニカルパス使用実績

診療科 名称	パス名称	件数	診療科 名称	パス名称	件数
外科	胃がん	32	総合診療科	ラジオ波焼灼術・経皮エタノール注入療法・肝生検	2
	自然気胸	11		胃がん	1
	人工肛門造設術	1		待機的食道静脈瘤結紮術（EVL）	1
	鼠径ヘルニア根治術	62		大腸癌	1
	大腸癌	62		大腸内視鏡・粘膜切除術（1泊2日）	23
	胆嚢摘出術	42		大腸内視鏡・粘膜切除術（2泊3日）	15
	虫垂炎手術 当日緊急	32		胆嚢摘出術	1
	乳癌手術	29		内視鏡下胃瘻造設・交換術	1
				内視鏡的胃粘膜切除・粘膜下層剥離術	16
循環器科	ペースメーカー新規植え込み	12		内視鏡的逆行性胆管膵管造影	2
	ペースメーカー電池交換	5		内視鏡的大腸粘膜剥離術	13
	経皮的冠動脈形成術（PCI）	11		腹部血管造影・肝動脈塞栓術	2
	心臓カテーテル検査	37	脳神経外科	腰椎手術（脳神経外科）	9
整形外科	鎖骨骨折	16		手根管症候群手術	7
	橈骨遠位端骨折	41		脊髄腔造影（脳神経外科）1泊2日	1
	大腿骨近位部骨折 観血的整復固定術	99		脳血管撮影	11
	人工股関節置換術（Dall法）	24		慢性硬膜下血腫当日用	5
	人工股関節置換術（大転子切離法）	3		頸椎手術（脳神経外科）	6
	人工膝関節置換術	42	泌尿器科	前立腺針生検	3
	足関節骨折	34		前立腺針生検+膀胱鏡	1
	大腿骨頸部骨折 人工骨頭術	80		局所麻酔下尿管ステント挿入・交換術	11
	下肢抜釘術（左右なし）	20		経尿道的前立腺切除術	8
	腰椎手術（整形外科）	22		経尿道的膀胱手術	44
	上肢骨折一般（左右なし、XPなし）	27		結石破碎術	23
	上肢抜釘術（左右なし）	35		腰椎麻酔下尿管ステント挿入・交換術	4
	脊髄腔造影 腰椎（整形外科）	14		腎摘出術	7
	脊髄腔造影 頸椎（整形外科）	1		前立腺生検	19
	頸椎手術（整形外科）	1		前立腺生検（膀胱鏡含む）脊椎麻酔	1
皮膚科	带状疱疹	15		前立腺生検（膀胱鏡含む）全身麻酔	39
眼科	白内障手術（PEA+IOL）	68		前立腺全摘出術	5
				排尿指導	1
				排尿指導 日帰り	9

(4) 災害医療対策室

救急医療の現状については、第3章患者の概況「救急患者取扱状況」を参照。

○院内防災訓練

- ・新規採用者を対象とした消防訓練および各セクションでの消防訓練、災害対策本部運営訓練、止水板設置訓練を実施(令和3年4月1日～令和4年3月31日 計20回 参加者延 195名)

○外部訓練・研修参加

- ・令和3年(毎月1回、計12回)神奈川県主催通信訓練参加
概要：災害発生時の複数手段(衛星電話、EMIS、MCA無線)での通信訓練
- ・令和3年11月11日 EMIS(広域災害救急医療情報システム)オンライン研修参加
概要：医療機関の被災状況、受入可能な患者数等を迅速に収集するEMISについて操作研修
- ・令和3年12月3日 県西地域災害医療対策会議による県西現地災害対策本部との合同訓練(医療救護情報伝達)参加
概要：小田原保健所足柄上センターと災害発生時の患者受入について情報伝達訓練

○会議出席

- ・県西地域災害医療対策会議 書面開催
概要：県西地域の災害医療対策の推進について検討

- ・小田原市立病院との連携

小田原市立病院及び県立足柄上病院連携推進会議及び幹事会において「災害時の2病院の連携」「機能の集約」等について協議することとした。この取り組みの一環として令和3年度は、小田原市立病院の震災訓練に足柄上病院が、また足柄上病院災害対策本部運営訓練に小田原市立病院がそれぞれ見学参加した。

○その他

- ・浸水対策
浸水対策として、病院出入口に止水板設置工事(6か所)を実施(令和3年6月設置)

- ・職員派遣

新型コロナウイルス感染症が急拡大した沖縄県から応援要請により、当院のDMAT担当看護師1名を2週間同県に派遣し、医療支援活動を行った。(令和4年1月19日～2月1日)

(5) 褥瘡対策会議

褥瘡対策チーム活動

昨年度から続くコロナ感染症対応により、病棟編成が改変を繰り返す中、褥瘡対策を実施した。昨年度よりも入院患者数(手術件数)は増加し、褥瘡リスク保有者は増加傾向であったが、院内の褥瘡発生数(率)は減少した。浅い褥瘡(持続する発赤)での早期発見が増え早期介入に繋がった。又、離床手段が車椅子の患者も多いため、療養場面の調整と合わせ、個々の身体機能に合わせた細かい調整が可能なモジュール車椅子を8台購入した。リハビリテーション科が中心となり、個別のシーティングを指導し褥瘡予防に寄与している。今後も継続的な観察と適切な予防対策を行い、褥瘡発生数の減少に取り組む。

一方、スキン-テア(皮膚裂傷)が増加傾向にある。褥瘡マニュアルにスキン-テアの予防管理を追加し、褥瘡リンクナースを中心に対策の強化をすすめている。

褥瘡関連データ

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
褥瘡危険因子保有者数	2,432 名	1,640 名	1,993 名
褥瘡有病者数	282 件	249 件	258 件
院外発生	※133 件	130 件	151 件
院内発生(自重褥瘡)	81 件	49 件	51 件
院内発生(MDRPU)	68 件	70 件	56 件
院内発生(スキン-テア)		78 件	99 件
入院数に対する褥瘡危険因子保有者の割合	46.8%	48.8%	47.4%
入院数に対する褥瘡有病者の割合	4.1%	7.4%	6.1%
院内発生者(自重褥瘡)の割合	1.55%	1.5%	1.2%
院内発生(スキン-テア)の割合		2.3%	2.4%
褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定数	885 件	715 件	911 件

※過去の年報報告数の修正箇所

(6) ボランティア活動報告

写真掲示ボランティア等の団体があるが、令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、院内における活動を原則として休止とした。

(7) 臨床病理検討会(CPC)

第66回 CPC 令和3年12月1日 15時00分より 研修室1

外科 内山 護先生 研修医 杉浦 暖人先生 病理診断科 亀田 陽一先生

「小腸ストマ閉鎖術後3日目に多量の嘔吐を伴う意識消失し心停止を来した1例」

出席者 24名

(8) 「医学講座」・「出前講座」

令和3年度「医学講座」は、新型コロナウイルス感染症のため中止とした。

令和3年度 地域住民対象「出前講座」開催実績

出前 第1回	6月18日(金) 9:15~10:45	「子どもの病気や事故への対応について」	小児科 青木理加医師	パレットガーデン自治会館	開成町ファミリーサポート会員 「まかせて会員・両方会員研修会」
出前 第2回	11月11日(木) 9:15~10:45	「子どもの病気や事故への対応について」	小児科 青木理加医師	パレットガーデン自治会館	開成町ファミリーサポート会員 「まかせて会員・両方会員研修会」